

(様式12)

最終試験の結果の要旨 (課程博士)

帝京科学大学大学院理工学研究科長 殿

審査委員 主査 内田恭敬  
副査 永沼 充  
副査 斉藤幸喜  
副査 松岡 浩  
副査 大久保英一  
副査 田仲浩平



|  |   |
|--|---|
| 学位申請者  | 先端科学技術専攻 平成 30年度入学 学籍番号 g18na001                |
|  | 氏名 和部崇洋   |
| 申請学位   | 博士 ( 先端科学技術 )                                   |
| 論文題目   | LEDを光源とする光音響イメージングを用いた体外循環回路における血液凝固予知保全システムの研究 |
| 最終試験の結果の要旨 (200字程度)  |   |
| <p>発表内容と質疑応答内容に関して申請者の返答内容を通じて、本論文の内容を十分理解するとともに、コメントに対して適切に対応していると審査委員からの返答を得た。しかし、審査委員から本研究の内容が人工心肺使用時の体外循環回路ではなく、血液透析時を想定した体外循環回路に関する内容であることから、論文の題目が誤解を与えるとの指摘があり「LEDを光源とする光音響イメージングを用いた血液体外循環回路における血液凝固予知保全システムの研究」とすることが適切であると結論した。また、英語論文の読解力に関する口頭試問を実施し、専門分野に関する語学力を持つことも確認した。</p> <p>以上より、申請者は博士の学位に値する能力を有することを認めることで審査委員の意見は一致した。ただし、指摘された内容を確実に対応した論文を提出することで論文審査としては合格と判断した。</p> |   |